

## 静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2015-07 造血幹細胞症例における ADVIA2120i %LUC ピークの有用性
当院の実施責任者研究及び職名	検査部 技師長 大畑 雅彦
他の研究機関および各施設の研究責任者	旭川赤十字病院 橋本 広昭 、 岩手医大病院 千葉 拓也 順天堂浦安病院 澤田 朝寛 、 横須賀共済病院 高橋 のぞみ 大阪医大病院 池本 敏行 、 岡山大学病院 渡部 俊幸 徳島大学病院 池亀 彰茂 、 九州大学病院 藤島 章義 麻生飯塚病院 日高 大輔 、 静岡赤十字病院 山崎 大央
研究期間（西暦）	2012年12月1日から2017年10月31日
研究の目的	造血幹細胞移植症例において ADVIA シリーズ（SIEMENS 社）%LUC の一過性ピークの有無が末梢血幹細胞採取で幹細胞採取量や採取回数、また骨髄移植では再発や短期死亡例と関連するという若干の知見を得ていた。当院が主幹病院として ADVIA を使用する他施設の協力を得て、PBSCH/BMT 症例を集積・解析し、上記知見の検証/確認を多施設共同研究として行なうことを目的とする。
研究の内容	末梢血幹細胞採取では採取前の%LUC値を時系列データとして観察し、幹細胞採取量、採取回数を比較した。 骨髄移植では AML、ALL を対象に BMT 後の%LUC 値の推移を観察し、再発・死亡例の頻度と生存期間を解析した。
個人情報の取扱い	調査記入用紙には氏名等の個人情報の記入欄はなく、検査データ及び ADVIA2120i の機器データは全て数値データである。主幹病院では『連結不可能匿名化』を行い、さらにデータベース及びその解析には専用 PC を用い、パスワード管理、データ管理者責任者など外部流出のない対応を行った。
問い合わせ先 (拒否等受付窓口)	【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 検査部 氏名：大畑 雅彦 山崎 大央 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311

本研究は 2018 年 11 月 第 64 回 日本臨床検査医学会（京都）にて報告した。